

1947

年頃一時和野の製材製函労働組合より
約五十名、合同労働組合より二十名、同
町水子社十名其他約三十名計る千餘
名に過ぎず、然に寂寥たる感は
余り加へ、同一三列構院二組に整列する製材
製函労働組合の態度、自由労働

組合員 (軍二カ一カ) 無名者ナ
任は美に在籍二道ナカ
田中隆夫の

力加一筆力一筆新事業的の増進したる

田中一編者執筆二筆一何故ア流云に之ノカリニ

中世ヲ命セラシム

最後ニ自由労働組合員 藤田周のハ参加者

運動ニ対シテは、指導者ハ浦島三郎

可成り活動的ニ、
大ニ一歩ヲ進ム